授業科目名	開講年次	開講時期	単位数	時間数	実務経験
成人看護学Ⅳ （内分泌・代謝）	２年次	後期	1	30	有

科目責任者	小瀧　亜矢子
授業概要	内分泌・代謝は特定の臓器の機能というより、身体の調整機構として全身器官の機能にまたがっている。それぞれの器官はフィードバック機構により相互に連携しており、障害の多くは全身性となり様々な症状を呈する。自覚症状が乏しいため慢性期でも患者さんの管理がうまくいかないと急性増悪を呈する。代表的なバセドウ病と糖尿病について事例を用い看護を考える
目標	１．治療について対象者にわかりやすく説明ができる。 ２．治療と自己管理について専門用語を理解し説明できる。 ３．ケアについて考えを深めることができる。

授業内容

回	内　　容	担当	授業方法
1	内分泌疾患の看護	小瀧	講義
2	甲状腺疾患の看護（バセドウ病患者の看護）	小瀧	講義
3	（紙上患者）患者情報とアセスメント	小瀧	演習・講義
4	（紙上患者）関連図、看護問題の明確化	小瀧	演習・講義
5	（紙上患者）看護目標と看護計画	小瀧	演習・講義
6	代謝疾患の看護（高脂血症・尿酸代謝異常）	小瀧	講義
7	糖尿病治療と自己管理 （インスリン補充療法・糖尿病経口薬、食事運動療法）	小瀧	講義
8	糖尿病患者の看護　セルフケア行動の獲得	小瀧	講義
9	(紙上患者）患者情報とアセスメント	小瀧	演習
10	（紙上患者）関連図、看護問題の明確化	小瀧	演習
11	（紙上患者）看護目標と看護計画 （生活指導内容の検討）	小瀧	演習
12	臨床での糖尿病指導の実際/看護計画に基づいた生活指導の実際	後藤	講義
13	看護計画に基づいた生活指導の実際	小瀧	演習
14	看護計画に基づいた生活指導の実際　まとめ	小瀧	演習
15	試験	小瀧	

履修条件	なし
テキスト	系統看護学講座　専門分野Ⅱ　内分泌・代謝　成人看護学⑥　医学書院
参考書	なし
評価方法	試験（100%）